

## 特別史跡 加曾利貝塚 平成29年度発掘調査結果説明資料

## I. 調査の概要

調査期間：平成29年9月26日～12月22日（日・月曜日・祝日休み）

準備工9月26～29日、撤去工12月12～22日。雨天中止9日間。実働40日間。

調査面積：625㎡（25m×25m）

調査地点：南貝塚北東部

調査体制：調査員2名、作業員約7名（延301名）

ふるいがけボランティア（延約23名）

## II. 調査の目的

1. 昭和39年調査の調査区の位置を確認する。
2. 昭和39年に検出した住居跡を確認し、集落構造や形成過程を解明する手がかりを得る。
3. 発掘調査の中長期計画策定のための情報を得る。

## III. 調査の成果

- ・昭和39年調査の直交する2本のトレンチ（旧IV・Vトレンチ）の位置を確認した。
- ・昭和39年調査で確認されていた縄文時代晩期の住居跡を確認し、東半分の調査を実施した。  
調査した住居跡は径約6～7mの円形をなし、壁厚は0.8mあること、時期は晩期前葉（安行3b式期）に所属することが明らかになった。
- ・縄文時代晩期の住居跡は複数軒存在する可能性がとらえられた。
- ・地表下約0.3mに、縄文時代後期～晩期の黒色遺物包含層が存在していることが確認された。
- ・南貝塚の北東部の貝層範囲は昭和39年の調査区の旧Vトレンチ以西に存在すると従来考えられていたが、旧Vトレンチ以東にも存在することが明らかになった。

## IV. 発見された遺構と遺物

遺構：竪穴住居跡（縄文時代晩期前葉）、焼土、貝層

遺物：縄文土器（中期・後期・晩期）

土製品（土偶・耳飾・土器片円板）、石器（石鏃・磨製石斧・石剣）、骨角器（刺突具）  
人骨、獣骨

## V. 普及活動

- ・調査状況は加曾利貝塚博物館ホームページ（毎日更新）にて配信
- ・現地掲示板（毎週更新）にて調査概要・成果・予定を公表
- ・調査担当者による現地説明（毎日14:00～14:15）
- ・ボランティアによるガイド
- ・縄文秋まつり現地説明 11月4日（土）
- ・現地説明会12月2日（土）10:00～15:30 550名参加
- ・ふるいがけ体験 11月4・11・25日（土） 14:15～15:00